

市民提案型ごみ減量活動等補助金の審査方法

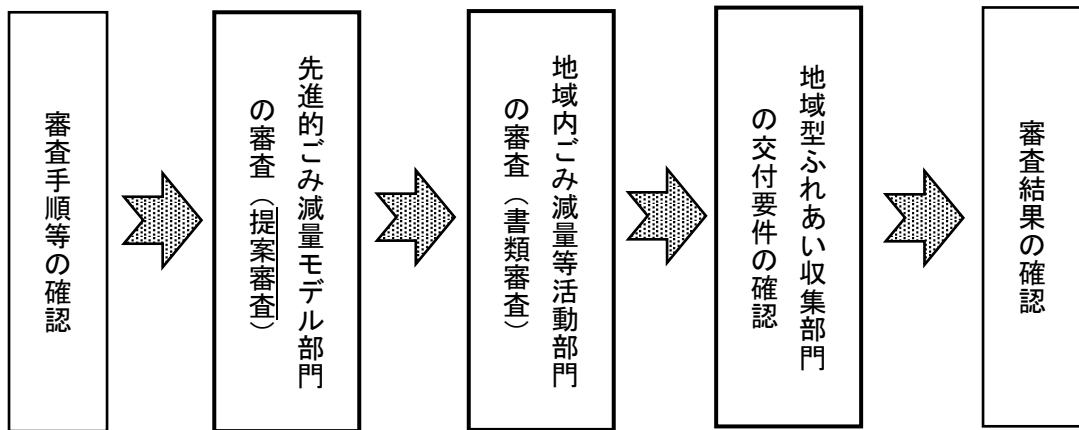
1. はじめに

当補助金は、市内における市民の主体的なごみ減量等の実践活動を活発にするため、支援する制度です。

審査に当たっては、提案事業を批判するのではなく、申請者の熱意をくみ取り、より良い事業に発展させる視点を第一に、双方向の対話を重視します。

2. 審査の手順

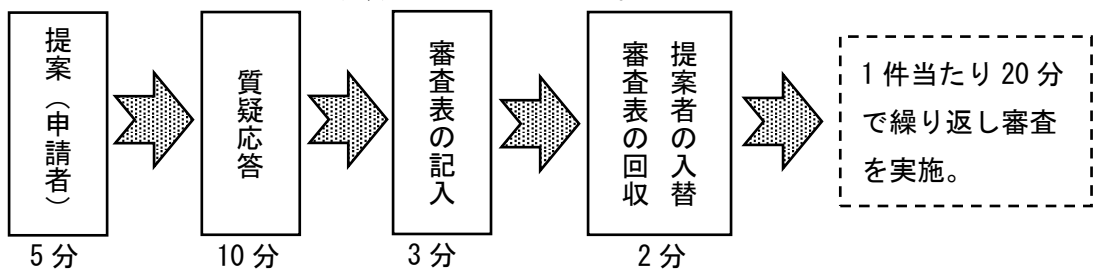
(1) 全体のスケジュール



(2) 各部門の審査スケジュール

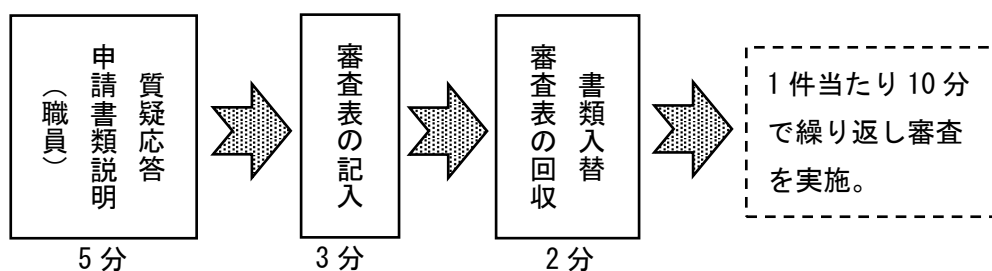
① 先進的ごみ減量モデル部門

申請者と対面式で提案審査を実施します。



② 地域内ごみ減量等活動部門

申請書類に基づいて審査を実施しますが、記載内容について不明な点等がある場合は、申請受付時のヒアリング結果を基にまち美化推進課職員が質疑にお答えします。



③ 地域型ふれあい収集部門

対象者が随時に発生する可能性があることから、市が交付を決定する際の要件を確認します。

交付実績は、次年度に審議会へ報告します。

3. 審査の方法

(1) 全体の流れ

審査は、絶対評価を基本とします。(相対評価ではない。)

補助金の部門ごとに、各部門の目的に応じた評価項目を設定し、提案審査や書類審査を通して審査員(部会員)が感じた印象をもとに、各項目を5段階又は3段階で評価して点数化(100点満点)します。

具体的には、各審査員が審査表を作成し、各項目を点数化することで申請案件ごとの合計得点を算出します。

最終的に、全ての審査員が出した合計得点を集計し、審査員の人数で除した平均値をもって、当該申請案件に対する当部会(審議会)の評価とします。

「地域型ふれあい収集部門」は、市が交付を決定する際に確認すべき要件を決定します。

(2) 評価項目と配点

部門ごとの評価項目と各項目の配点は、表1のとおりとします。

なお、「審査員の総合評価」は、既設の評価項目以外の視点も含め、各審査員独自の基準により5段階評価を実施してください。ただし、部門ごとにある程度統一された基準や価値観で評価するように心がけてください。

【表1】

先進的ごみ減量モデル		
評価項目	評価方法	配点
事業の先進性	5段階	20
事業の独自性	5段階	20
事業の広がり(地理的な広がり)	3段階	10
事業の広がり(人的な広がり)	3段階	10
事業の実現性(実施主体)	3段階	10
事業の実現性(事業手法)	3段階	10
評価員の総合評価	5段階	20
合 計		100

地域内ごみ減量等活動		
評価項目	評価方法	配点
事業の実現性（実施主体）	3段階	10
事業の実現性（事業手法）	3段階	10
事業の継続性（実施体制）	3段階	10
事業の継続性（活動経費）	3段階	10
減量等の効果	5段階	20
住民の主体性	5段階	20
評価員の総合評価	5段階	20
合 計		100

地域型ふれあい収集	
確認項目（すべての要件を満たす場合に交付する。）	評価
実施主体が対象者の生活実態を確認し、ごみ出しが困難と確認している。	適・否
対象者がふれあい収集を必要としている。（対象者の希望）	適・否
継続性が見込まれる実施主体である。（地域団体等）	適・否
ふれあい収集の実施に必要な協力者が確保されている。	適・否

4. 審査結果の取扱い

審査結果は、別記様式1により、申請案件の評価（合計得点の平均値）をもとに3種類又は2種類に区分して市へ報告します。

市が交付を決定する際に付すべき条件があれば、付記することとします。

【表2】

「先進的ごみ減量モデル」		
審査区分	基準	審査結果の意味
優先採択	80点以上	必要額を交付するべきである。
採 択	50点以上80点未満	上限額（30万円）の範囲内で交付することが適当である。
不採択	50点未満	交付することは適当でない。

「地域内ごみ減量等活動」		
審査区分	基準	審査結果の意味
採 択	50点以上	上限額（10万円）の範囲内で交付することが適当である。
不採択	50点未満	交付することは適当でない。

5. 審査員と関連がある団体からの申請（除斥規定）

申請者（団体）と下記の関係が認められる審査員は、審査の公平性を高める観点から当該申請者の案件の審査に参加できないものとし、その他の審査員により「3. 審査の方法」のとおり審査を実施します。

この間、該当する審査員は、審査会場外で待機することとします。

【除斥規定の対象】

- ① 審査員又は審査員の配偶者が代表又は役員を務める団体
- ② 審査員の推薦母体
- ③ ①又は②を構成員に含む団体（実行委員会等）

市民提案型ごみ減量活動等補助金 審査結果

1. 「先進のごみ減量モデル部門」の審査結果

受付番号	事業名	評価(得点)	審査区分	備考(意見等)
1	もってけドロボー蚤の市			
2	生ごみ堆肥化			
3	SDGs ボードゲームで遊ぶ使い捨てない暮らし方			

【審査区分の凡例】

「先進のごみ減量モデル」		
審査区分	基準	審査結果の意味
優先採択	80点以上	必要額を交付すべきである。
採 択	50点以上80点未満	上限額(30万円)の範囲内で交付することが適当である。
不採択	50点未満	交付することは適当でない。